

研究紀要第7号の発刊にあたって

明海大学副学長

教職課程センター長

高野敬三

ここに明海大学教職課程センター（METTS：MEikai Teacher Training Support Center）「研究紀要」第7号をお届けする。

2023年度のMETTSの取組の最大の成果は、2024年度教員採用試験での合格実績である。METTSでは、公立及び私立学校で教員になることを希望する学生への支援を続けているが、今年度は2016年に設立されて以来最多の合格者数を挙げることができた。千葉県で10名、東京都で11名、川崎市1名、茨城県1名、新潟県1名と計25名が小中高等学校で合格した。2024年度4月から教諭として教壇に立ち、各自あこがれであった教師としての働きを始めることになる。

METTSは、教員を目指す学生の夢を支援するため、さまざまな取組を行っている。上述した教員採用試験の合格支援のみならず、日頃の教育とそれに関連した研究、そして、地域学校教育センターとしての地域貢献に勤しんでいる。そして、今回の教職課程センター「研究紀要」第7号では、その日頃の研究の成果として、研究論文2編を収録することができた。また、教育や地域貢献の実践として、教育実践報告を4編収録することができた。この紀要を発刊することで、METTSが教員養成機関としてだけでなく、教育研究機関としての取組をご覧いただけることを衷心より感謝する。また、これまでMETTSの教育活動にご協力いただいた足立区、横手市や東京都教育委員会、浦安市教育委員会をはじめとして連携教育委員会、高等学校、小中学校の先生方には厚く感謝申し上げます。

METTSは、本学が「教職の明海」と言われることを願って今後も取り組みを続けていく。これからも各地域との連携を図りながら教員養成の適切な在り方を精力的に研究・実践してく所存である。その中で多くの方々からご意見を頂戴できれば幸いである。